

議会報告会報告書

1. 開催地区名 船越地区
2. 開催日時 令和8年8月7日(金) 10時00分から11時30分まで
3. 出席議員 船木 正博(代表者) 安田健次郎(職務代理者)
進藤 優子 蓬田 司 佐々木克広 小野 肇
4. 参加者数 14名
5. 意見・要望等
- (1) 議会に対する事項 な し

(2) 市政に対する事項

- ① 「男鹿市総合計画」において将来人口の目標を設定し、人口減少の抑制を掲げているが、想定以上に人口減少が進めば、将来的に他自治体と合併せざるを得なくなるのではないかと懸念されている。
- ② 若い世代の人口流出については、住宅問題も要因の一つと考えられる。男鹿市は、近隣の潟上市と比較して、地価や賃貸住宅の家賃が高い傾向にあり、かつ物件数も少ないことから、潟上市へ転出するケースも多い。「若者・子育て世帯向け住宅等供給促進事業」のような施策を進めることで、少しでも若い世代の流出が抑えられることを期待している。
- ③ 建設業界などに民間の賃貸住宅の建設を呼びかけていただきたい。
- ④ 男鹿市と潟上市における公営住宅の家賃について、家族構成や所得等による違いはあるか。
- ⑤ これまでも再三にわたり要望している敬老会の運営に関して、長沼、本町、新町各町内会では、世帯数が500を超える一方、役員自身の高齢化も相まって、開催準備に大変苦慮している。人的あるいは予算的な面からも、現行の体制をいつまで維持できるかという不安も大きい。こうした地域の実情を理解するとともに

に、敬老会の運営に対し、行政が一定程度関与する仕組みづくりが必要ではないか。

- ⑥ 男鹿みなと市民病院について、厳しい経営状況、老朽化した検査機器の更新、あるいは医師の適切な配置等に対し、多くの市民は不安を感じている。今後の病院の維持、及び経営方針についての見解を伺いたい。
- ⑦ 船越コミュニティセンターでは、月2回、25人程度が集い、健康麻雀を楽しんでいる。活動の活性化を図るため、麻雀卓や関連用具の購入に対する補助を検討していただきたい。
- ⑧ 船越コミュニティセンターの和室にはエアコンが設置されているが、同様に利用頻度の高い視聴覚室にも設置していただきたい。和室と視聴覚室が同時に利用されるケースも多く、エアコンがない環境での活動には大変苦慮している。
- ⑨ クマ対策について、出没箇所や移動経路が、ある程度予測できるにもかかわらず、十分な対策がなされていないと感じている。移動経路における草刈りや雑木の伐採などの環境整備は非常に重要であるが、町内会で実施するにあたっては、伐採後の処理に課題がある。また、防潮水門周辺の雑木の伐採等については、県へ要望しているものの進展が見られない状況である。環境整備を含めたクマ対策に対する市の方針を伺いたい。
- ⑩ 市内中学生の県外高校への進学実績について、これまで議会への報告はあったか。

6. 特 記 事 項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項 な し

(2) 市政に対する事項

5. (2)のうち、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨ の事項について